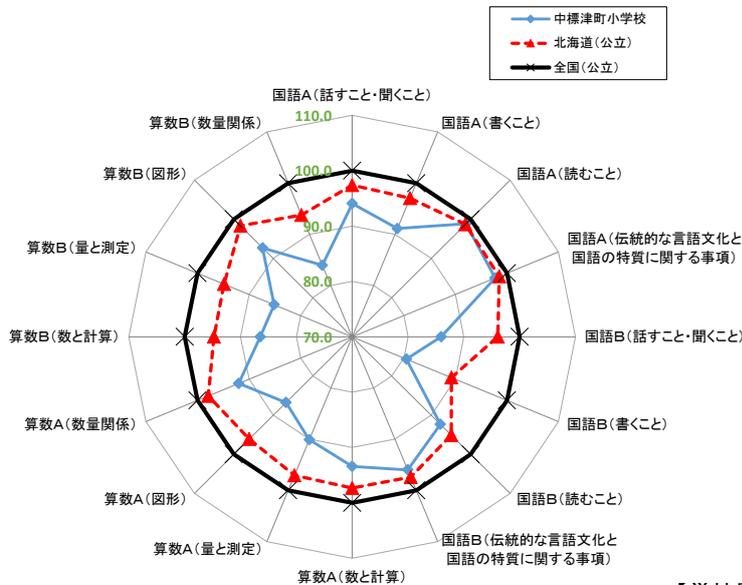


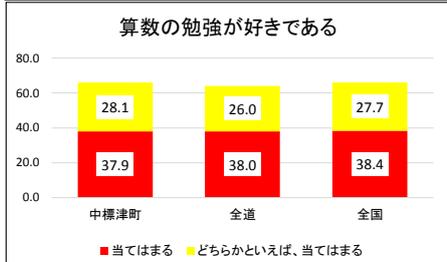
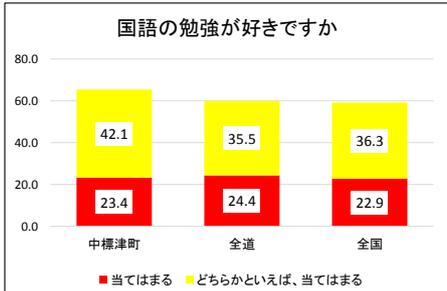
■ 中標津町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:7校、児童数:235名)

【教科全体の状況】

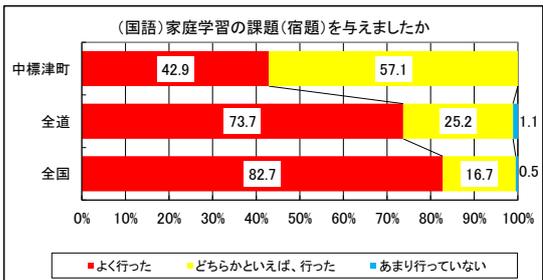
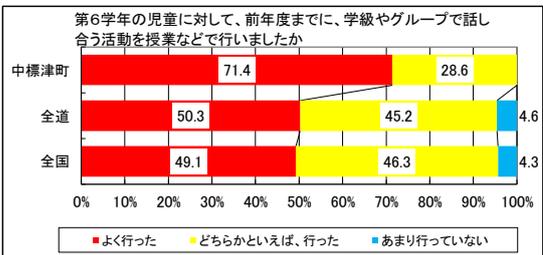
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



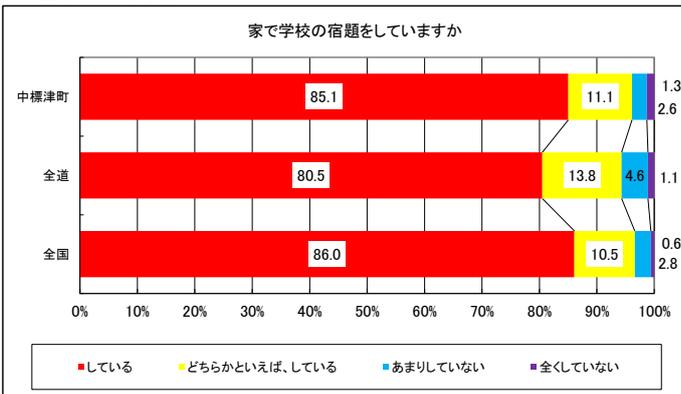
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が他の領域に比べて全国との差が小さい。	○ 各学校で学級やグループで話し合う活動を充実することなどにより、話すこと・聞くことの能力が高まりつつある。一方、家で学校の宿題をしていると回答する児童の割合が全道より高いものの、家庭学習の課題を与えている割合が全道、全国より低くなっていることから、学習習慣の定着に向けた取組を一層工夫する必要がある。
児童質問紙	○ 「国語、算数の勉強が好き、どちらかといえば好き」と回答する児童が全国あるいは全道と比べて多い。 ○ 「家で学校の宿題をしている」と回答する児童が全国と比べて少なく、全道と比べて多い。	
学校質問紙	○ 「学級やグループで話し合う活動を行った」と回答する学校が全道、全国と比べて多い。 ○ 「家庭学習の課題をよく与えた」と回答する学校が全道、全国と比べて少ない。	

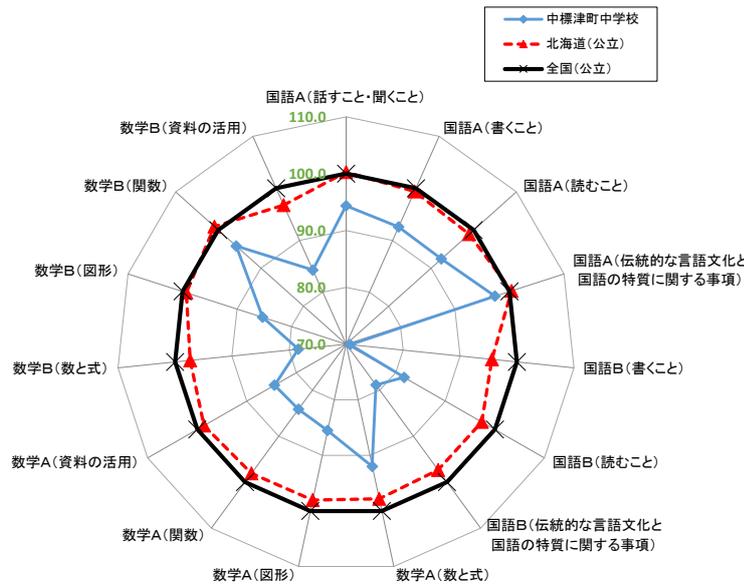
【中標津町の学力向上策】

- ◎ 各教科等における言語活動の充実を図った授業づくり
- ◎ 町独自の学習サポート教員の配置
- ◎ 学校・家庭・地域と連携した学習規律の確立

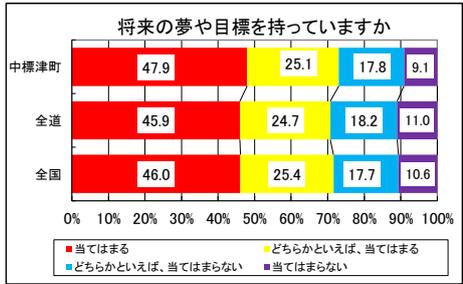
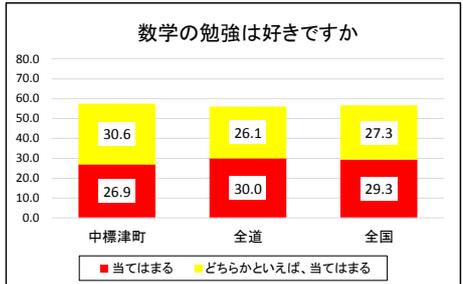
■ 中標津町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:221名)

【教科全体の状況】

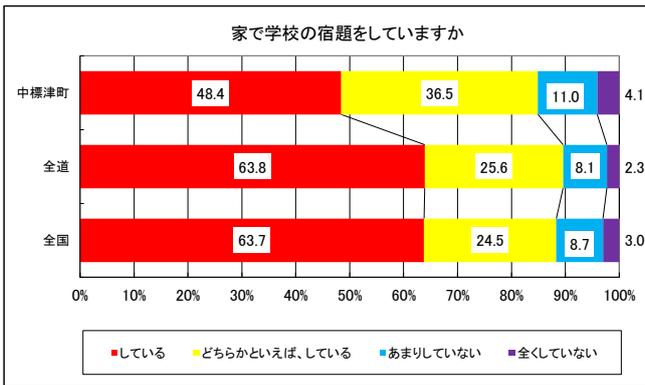
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



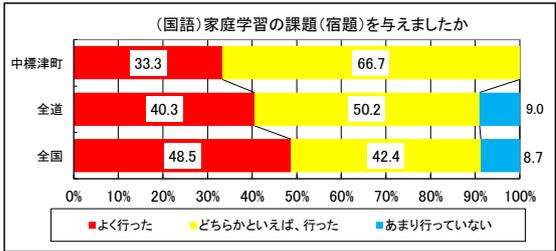
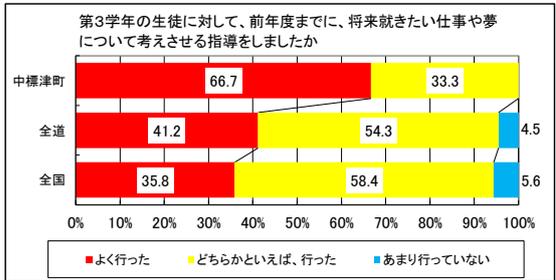
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Bの「関数」の領域が他の領域に比べて全国との差が小さい。	○ 各学校で将来就きたい仕事や夢について考えさせる活動を充実することなどにより、将来の夢や目標を持つ生徒が増えつつある。一方、学校が家庭学習の課題を与える割合や生徒が家で学校の宿題をしていると回答する割合が全道、全国より低くなっていることから、学習習慣の定着に向けた取組を一層工夫する必要がある。
生徒質問紙	○ 「数学の勉強が好き、どちらかといえば好き」、「将来の目標を持っている」と回答する生徒が全道、全国と比べて多い。 ○ 「家で学校の宿題をしている」と回答する生徒が全道、全国と比べて少ない。	
学校質問紙	○ 「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をよく行った」と回答する学校が全道、全国と比べて多い。 ○ 「家庭学習の課題をよく与えた」と回答する学校が全道、全国と比べて少ない。	

【中標津町の学力向上策】

- ◎ 各教科等における言語活動の充実を図った授業づくり
- ◎ 学生ボランティアの活用
- ◎ 学校・家庭・地域と連携した学習規律の確立